

公開講座



神田外語大学 言語科学研究科

ネット社会でのリテラシーの鍵となるもの －語彙と世界知識と推論と－

講師：堀場 裕紀江

神田外語大学大学院・言語科学研究科・教授

2023年9月9日（土） 15:00 ～16:30
オンライン開催

- ☐ 対象 言語教育，言語コミュニケーションの研究や実践に関心をお持ちの方
- ☐ 使用言語 日本語
- ☐ ・参加費無料。
- ☐ ・申込フォーム：
[HTTPS://FORMS.GLE/L7NVNVWX2BUFYXA37](https://forms.gle/L7NVNVWX2BUFYXA37)



- ☐ 申込期限：9/5（火）
・申し込み期間終了後にご登録のメールアドレス宛に接続先等の
詳細をご案内します。

※同日13:30～14:30 本学大学院説明会を開催いたします。

詳しくは以下をご覧ください。

神田外語大学大学院 入試説明会

[HTTPS://WWW.KANDAGAIGO.AC.JP/KUIS/MAIN/OPENCAMPUS/EXTENSION/](https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/)



お問い合わせ： infograd@ml.kuis.ac.jp 043-273-1320

講座概要

インターネットが普及し、様々な文書（テキスト）にアクセスして様々な情報を手に入れることができるようになりました。文書を読んで理解するためには言語知識と世界知識が必要なことは言うまでもありませんが、テキストの中の情報と情報、テキスト情報と世界知識と結びつけてまとめた意味理解を達成するためには、情報間のギャップ埋め、すなわち、推論が鍵となります。さらに、複数の文書を扱う場合には信頼性・関連性を判断する能力も求められます。本公開講座では、ネット社会で求められるリテラシーという観点から、言語理解の鍵となる要因とその関係性について、最近の関連研究からの知見をもとに検討します。



講師紹介

堀場裕紀江（神田外語大学大学院・言語科学研究科・教授）
Pd.D. (University of Minnesota) 専門は第二言語文化教育学

研究領域は第二言語読解，語彙習得，タスクと言語運用，読み書きと学習。
Discourse Processes, Language Learning, Modern Language Journal, Studies in Second Language Acquisition, Reading in a Foreign Language, Handbook of Japanese Psycholinguistics (Cambridge Univ. Press 2006), Task-based language teaching in foreign language contexts (John Benjamins 2012), 英文読解のプロセスと指導(大修館書店 2002), L2日本語習得研究等に論文を発表している。

